

# 婦人会だより



婦人会長

田中 英子

令和4年度もコロナ禍のなか、婦人会活動を縮小はしましたが、地域においては、内部川清掃、敬老の日、文化祭、あったか訪問と実施することが出来ました。JA みえきた女性部においては、「カフェサロン内部」を開催し、回を重ねると共にカフェに来られる人との交流が出来、地域の皆様に愛されるようになりました。

また、JA みえきた女性部のつどいとして、「しんよやくフェスタ」が3年ぶりに盛大に執り行われました。皆様のご協力のおかげで無事終えることができました。

本当にありがとうございました。！感謝！



副会長・会計 山中 千代子

今年度はコロナ禍も3年目に入り、自粛していた婦人会活動も徐々に増してきた年であったかと思えます。ゴキブリ団子作りに始まり、内部川清掃・文化祭など、婦人会としても地域に貢献できたのではないかと思います。女性部の集いでは、三味線ロックユニット KUNI-KEN(四日市観光大使)の迫力ある演奏に「コロナに負けずに頑張れ」と励まされたようで、これからの活動の糧となりました。

一年間ありがとうございました。

福祉部 三田村 弘子 太田 悦子

コロナ禍の中、4月に毎年3校1園にお渡しする“ゴキブリ団子作りから始まり7月は内部川清掃、10月には半日の文化祭などお手伝いをさせて頂きました。

一年間ありがとうございました。

会計監査 山中とし子 上杉 真

2022年度も毎日のニュースでコロナというワードを聞かない日は無く、一昨年、昨年同様婦人会活動もままならない一年だったような気がします。役員同士が顔を合わす機会も少なく、なんとなく寂しいあつという間の一年でした。

私たちはいつでもどんな時でも婦人会活動を通じて教わった人を思いやる気持ち、物を大切に心、笑顔と感謝を忘れない・・・そんなことを心がけて、これからもコロナという魔物に負けることなく日々過ごしていきたいと思っています。皆様一年間お世話になり、ありがとうございました。

笑顔



## 人権協 堀 須美子

いつまで経っても収束しないコロナ禍ですが、そんな中 2022 年度は、人権講演会、人権コンサートが開かれました。

婦人会も、コロナ禍以前のような活動が出来ることを祈っています。一年間、私達の知らないところで動いて下さった田中会長はじめ役員の方がた、ありがとうございました。



## 広報 堀 列子



“小雨の中、3年ぶりに実施されました。それでも沢山の方が集まりました。38年続く内部川清掃が評価され、三重河川国道事務所長から感謝状を頂きました”

令和4年度の役員初のお仕事「ゴキブリ団子づくり」で始まり手際よく出来上がった事を昨日のこのように思い出します。続いて2年越しの内部川清掃、文化祭など縮小したといえども久々に実施された行事が終えられたことは意味深いことと思われました。以前のように地域の人と行事がにぎやかに、楽しく出来る日が早く来る事を願うと共に、人員制限の中で活動に関わって頂いた会長をはじめとする方々に感謝致します。



## 文化祭



皆さんに届けて頂いたお祝い品

- ・洗える抗菌防臭マスク
- ・涼感タオル ・タオル

「必需品」と喜んでいただきました。コロナ禍で各町内、お祝いの会で集まる事が出来ず残念な思いでした。

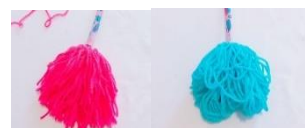
## 女性の集い

KUNI-KEN



以前、田中会長が若かりし頃、内部の文化祭で演奏され、それ以来のお付き合いと言われている KUNI-KEN のゲストでした。三味線ロックで世界を駆け巡っているそうです。

## 内部小学校支援ボランティア



ミニほうき作成

小古曾町 村山 真弓 (記) 藤田 ひとみ

コロナ禍で、行事は少なかったのですが、ゴキブリ団子作りや内部川清掃でのベテラン役員さんの手際の良さ、チームワークの良さにびっくりしました。初めての参加の私たちはついていくのに精一杯でした。役員や会員、地域とのつながりの大切さを強く感じた一年でした。

ありがとうございました。



南小松町 山中 千代子 須藤 訶子 (記)



コロナ禍のなか、内部小学校活動「楽しい小物づくり」に参加させて頂きました。マスクをしながら教えて行く事は子供たちの表情がわからなく、理解して頂いているのか不安でした。人に教える難しさを体験させていただき有難うございました。一日も早くマスクなしで出来たらいいですね。

一年間皆様のご協力のおかげで無事に終える事が出来ました。本当にありがとうございました。

貝家町 上杉 真

村木富士子 (記)

2022年度 貝家町婦人会役員をさせて頂きましたが、コロナが終息しないまま、大きな行事、活動もできないまま 2022年度が終わろうとしています。

ゴキブリ団子作りや内部川清掃に参加させて頂き、婦人会は地域に密着した大きな存在だと改めて感じました。永年、役員をされている先輩方をお手本に周りの方々への感謝の気持ちを忘れず日々過ごしていきたいと思います。皆様 一年間有難うございました。



北小松町 堀 須美子

堀 列子 (記)

コロナ禍がいつまで続くのか？ それでも今年は、人員制限や縮小など考慮したうえでの行事が執り行われ、少しは皆さんと一緒にお会いすることが出来ました。一年を振り返るとき、いつも思い出す田中会長の言葉：「婦人会は、おにぎりの様に思う。ひと粒ひと粒のご飯が集まっておにぎりが出来ている。婦人会も会員一人一人が集まり一丸となって婦人会活動を行うことが出来ている。会員一人ひとは重要な立場であり、感謝するのみ」・・・行事が少ない中でも確認出来た一年でした。皆様、一年間お世話になり、ありがとうございました。出逢いに感謝致します。

